

臨床検査専門科目	生体機能検査学					
		1単位	演習	平成30年度	前期	2年次
臨床検査学科	必修					
科目名	生体機能検査学各論Ⅱ（循環） Clinical Physiology (Cardiology)					
担当教員	◎堀江修 高橋秀一 増田喜一 仲宗根出					
目的	生体機能検査のなかで一般的な心電図検査をはじめ心臓超音波検査などの循環器系機能検査に関する概要および画像データの評価について理解する。また、超音波検査の基礎知識および各種アーチファクトについて理解する。					
目標	<p>生体機能検査学(総論)で習得した基礎知識を元に、循環器系生体機能検査の意義、限界等について詳細を説明できる。循環器系機能検査ごとに正しい検査手技を理解する。得られた検査データについて、その信頼性を評価し、病態を把握する方法を学ぶ。実例を用い、検査データの読み方、追加実施すべき検査等を学ぶ。</p> <p>生体機能検査に関連する主な病態を理解し、各種生体機能検査がどのように用いられ、評価されているかについて説明できる。</p> <p>Ⅱ：循環機能系検査</p> <p>① 循環器系疾患と代表的な生体機能検査の対応について説明ができる。</p> <p>② 標準12誘導心電図検査に加え、各種心電図検査の測定原理や適応について説明ができる。</p> <p>③ 心臓超音波検査の代表的描出方法について理解できる。</p> <p>④ 心臓超音波検査を用いた虚血性心疾患、弁膜症、先天性心疾患、心筋心膜疾患の特徴について理解できる。</p>					
他科目との関連	生体機能検査学総論，生体機能検査学各論（呼吸，神経，画像）					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験の成績				
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	最新 臨床検査学講座 生理機能検査学（医歯薬出版）					
参考資料	標準臨床検査学 生理検査学画像検査学（医学書院），臨床病態学1（ヌーベルヒロカワ）					
備考 (受講上注意， 事前学習等)	学外講師の都合により，適宜順番・日程を入れ替える。					